

令和元年度 長野県下伊那農業高等学校 学校評価表(年度末評価)

学校教育目標	中・長期的目標		
	1 農業や関連産業の持続可能な発展及び地域社会・文化の担い手として貢献できる人材を育成する。 2 農業の持つ教育力を最大限に活用し、知・徳・体の調和のとれた人格を形成する。		
	重点目標	評価(記述)	評価
一 質実・剛健 一 誠実・堪能 一 積極・真摯	1 地域とともに歩む学校づくり	今年度も就職者の約89%が地元就職するなど、地域に根ざし、地域の農業・産業を担う社会人を育成する本校の使命・伝統を踏まえた教育活動を実践することができた。今後とも高校在学中に地元(産業・食・文化等)の素晴らしさを実感させ、県外の大学・専門学校等へ進学する生徒のUターンへの働きかけに一層努めたい。	A
	2 学校生活を支える環境づくり	安全で安心な環境で生徒たちが存分に力を発揮できるように、圃場整備、校舎内外の整備をすすめている。また本校独自の週番活動や生徒・職員の全員でおこなう清掃は、職員と生徒が連携・協働した活動であり、整った環境づくりに貢献している。いじめや暴力、非違行為のない学校生活が送れるように全職員が意識を高め働きかけもおこなっている。引続き教育相談や特別支援にも配慮し、必要に応じてSCなど外部との連携を図りながら、心の支援も含め、学校生活を支える環境づくりを充実させていきたい。	B
	3 自己指導能力を高める心づくり	日常の生徒指導や学習指導をとおして、基本的な生活習慣の確立に努め、規範意識や人権意識を醸成している。また、様々な地域連携や講師招へい授業、インターンシップ、農場実習や生徒会・クラブ活動等を通して、社会性や人間性を育成している。生徒及び保護者へのアンケートからは、本校で成長できたと感じている生徒が約85%、本校へ子どもが入学して良かったと感じている保護者が約91%となった。今後とも自制心や自律心、自己肯定感や自己効力感を育み、自立できるよう心の成長を促したい。	B
	4 新たな学びに転換する授業づくり	昨年度入ったICT機器を授業に積極的に使用する教員も増え、生徒にとってより分かりやすい授業、主体的に学ぶ授業への転換を更に進めている。 また、個人的に研究・研修を進めるだけでなく、研究授業や互いに授業参観を行ったり、授業のユニバーサルデザイン化等についての職員研修も行ったりし、授業改善に努めた。 生徒の授業満足度は91%に達しているが、今後もさらに「新たな学び」に対応した授業への転換を促進させたい。	A
	5 夢に挑戦する人づくり	学年ごとに段階的な進路指導計画を進め、早期から進路の意識付けを行うとともに、職場体験や進学ガイダンス、地域連携学習等により、具体的な職業観や勤労観の醸成、地域理解を含めてキャリア形成を促している。生徒アンケートでは「学校は進路情報をよく知らせ、進路指導をしてくれる」が約80%、保護者は「学校は進路指導に力を入れている」が約80%であり、概ね進路や夢の実現に向けた支援ができたと考える。今後とも、生徒・保護者の意見・要望を踏まえながらキャリア教育を推進したい。	A

<A:達成できた B:概ね達成できた C:不十分であった>

令和元年度 長野県下伊那農業高等学校 学校評価表

評価項目	評価の観点	評価
農業教育を充実させるための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 農業の必要性や素晴らしさを生徒に伝えることができたか。 「グローバル・アグリハイスクール宣言」や「長野県における新たな農業教育の方向性について(提言)」を実現するために、新たな教育実践ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内の授業だけでなく、地域をフィールドとした活動をとおして、地域を支える産業としての「農業」、地域内外の人的交流を図り関係人口を増やすための「農業」、人間の生命活動を支える「農業」、景観を守るなど自然環境を支える「農業」について考えさせることができた。 世界共通の持続可能な開発目標であるSDGsを意識した授業を展開することで、持続可能な農業を促進するためには何が必要で、どのような行動をとることができるか考えるきっかけをつくることができた。
資格取得を充実するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が資格取得に興味関心を示し、生徒一人ひとりが二種類以上の資格取得に取り組むことができるように指導することができたか。 講習会や補習を充実させ、合格率8割を目指すと共に、生徒にとって満足いく成果が得られたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 資格の内容やメリットについて様々な場面で生徒に話をし、授業中や放課後等の補習を通して、資格を取得するという雰囲気作りができたと考える。今後も、生徒が積極的に資格試験に挑戦できる環境づくりや指導を継続していく必要がある。 合格率は資格により異なるが、8割を超える合格率の資格もあり、資格取得に意欲的に挑戦する生徒の姿が見られた。しかし、難易度の高い資格では合格率が低い資格もあり、不合格者に対して再挑戦する気持ちにさせる指導や、合格率を上げるための指導改善が課題として挙げられる。
学習意欲を向上させるための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習意欲を向上させるため、校外実習や外部講師による授業など、授業内容を工夫し実践することができたか。 生徒にとって分かりやすい授業を実践することができたか。また、理解できない生徒に対して事後指導がしっかりできたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門科目では外部講師の活用や校外実習などを積極的に取り入れた授業を行うことができた。 各教室にICT機器が整備され、多くの授業で活用が見られた。 「授業評価」の評価結果を踏まえ、ICT機器等を利用するなど、独自の教材を作成するなど分かりやすい授業への実践や取り組みが進んでいる。 検定前の補習に加え、3者面談中に希望者に対し補習を行ったり、放課後に個別指導を行ったりした。
進路希望を実現させるための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に合った計画的指導ができたか。 進路が多様化する生徒に対し情報提供が十分かつ的確にできたか。 進学希望者に対する指導・補習が十分できたか。 生徒が希望する進路を実現することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を見通して作成した学年毎の進路指導計画に基づいて指導を行ってきた。3年生にはガイダンスおよび個別指導を、1・2年生には実例をもとに本校の強みと弱みを意識してガイダンスを実施した。 3年生には『進路アクセス』を配布し、進路ガイダンス・講話や地区懇談会・保護者懇談会など、その都度資料を配布し、情報提供することができた。また、大学入試改革に伴う急な変更などにも丁寧に対応し、説明を行った。 今年度は国公立大学希望者がいかなかったが、特に看護系受験・センター試験等に向けて個別指導で対応した。来年度の大学入試改革の行方が不透明ではあるが、対策を検討していきたい。 今年度は入試制度変更を来年に控えた受験生の動向に大きな変化があり、公募制推薦による大学進学者(特に医療系)は苦戦を強いられた。また、公務員希望者が例年より多く、警察・消防では希望が叶わなかったが、それぞれの生徒が納得した進路先を決定することができた。
地域を理解し、地域との連携を深めるための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が意欲的に参加し、活動した取り組みであったか。 地域の文化を取り入れた内容の活動を行い、地域文化を理解させることができたか。 実施した取り組みが、相手や地域の理解と評価を得られたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 学科毎の授業や班活動において、地域の連携を深めるための活動が例年以上に多数実施され、生徒も意欲的・積極的に参加した。 地域連携活動として、援農活動・農村景観維持活動・学輪IIDA・耕作放棄地解消活動(そばや小麦の栽培とその利用)・郷土料理継承活動(ジビエレストランや久堅御膳)・企業と連携した商品開発(シードル、お菓子やお茶、調味料)など地域文化を理解させながら新たな取り組みにも挑戦した。 これらの取り組みは、報道機関等で取り上げられる機会も多く、地域からも一定の評価を得ている。
基本的生活習慣を確立するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 「身だしなみ」をきちんとする指導の実践ができたか。 問題行動を未然に防ぐ予防的指導ができたか。 集会の時は迅速に集合・整列し、整然とした集会を実施することができたか。 気持ちよい挨拶を習慣づけることができたか。 校内外の清掃活動を通して、ゴミの分別を徹底させ、リサイクルの必要性について認識させることができたか。 時間のけじめをつけさせ、休み時間の有効活用によるスムーズな授業開始や遅刻をなくす指導ができたか。 いじめを許さない学校作りを進め、生徒が発する小さなサインを見逃すことのない指導ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 始業式、各試験中などで複数の職員目で確認する検査を実施して生徒の意識向上に努めてきた。概ね正しく制服の着用はできたと思われる。 昨年と同様に校内外の巡視を実施。問題行動(反省指導)については例年に比べて少なかった。 集会時の整列の仕方にはクラスごと違いを感じる場面もあったが概ね良好であった。 生活委員会中心のあいさつ運動週間を実施し、週間中は挨拶も徹底できたが日頃の生活の中で常に気持ちの良い挨拶を心がける指導とまでにならなかった。 清掃については美化委員会を中心に校内の美化はもちろん分別してのごみ処理等美化意識を高めることができた。 朝の遅刻、授業への遅刻等行動の先読みができない生徒が増えてきている。けじめをつけた生活態度や今やらなければいけないことなど一人一人が自覚をもって行動できる指導が必要であった。 「いじめ防止等の基本的な方針」に基づき対応してきた。小さなトラブルに回りが早く気が付き、気が付いたことを皆で共有しながら、どんな小さなトラブルでもいじめ等に発展させないような周りの見守りや職員間の連絡や報告が重要と感じる。
課外活動を充実するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が課外活動に積極的に参加し、活動することができたか。 個々の生徒が目標とする成果をあげることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの班活動で県大会に進むなど大きな成果が見られた。果樹班のプロジェクト発表が3年連続の農業クラブ全国大会出場を果たし、アグリ研畜産班のプロジェクト発表は北信越大会に出場した。陸上班では宮澤さんが北信越に出場、剣道班は男女とも県大会出場。他のクラブも所属している生徒は熱心に活動している。吹奏楽も地域からの要請のボランティア演奏にも出かけた。 運動班、文芸班、特別班、専門班のどれかに全員加入となっているが、より多くの生徒が班活動に積極的に参加することが望ましい。
安全教育を推進するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 安全教育に対する研修の機会を設け、それに参加することができたか。 あらゆる場面で、生徒の安全を意識した教育活動を実践することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員向けの交通安全研修や生徒向けの交通安全講話の開催、HRでの交通マナーへの呼びかけ、二輪車協会によるバイク点検の実施等を行った。大きな交通事故はなかったが、小さな交通事故は例年並みにあった。交通マナーに対する呼びかけを継続していく必要がある。

令和元年度 生徒アンケートまとめ（1年生）

67下伊那農業高等学校

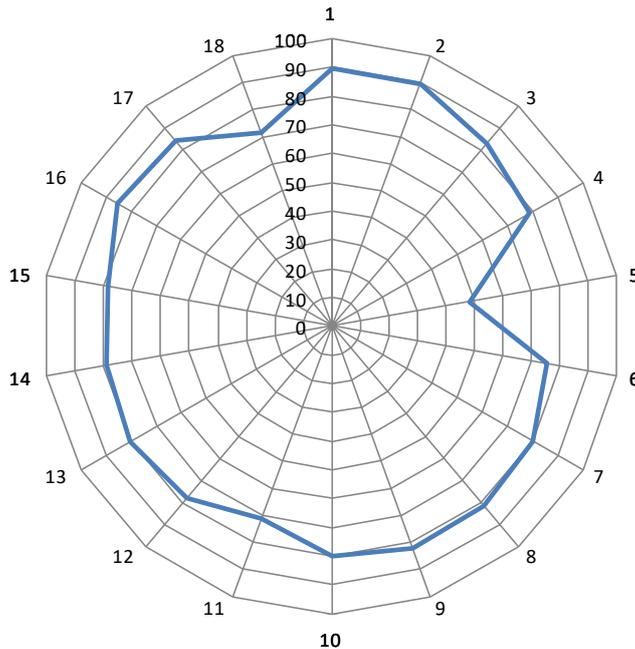
以下の質問にA～Dの4段階で評価し、該当する箇所に○印をしてください。

A:あてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

R1.12月実施

No.	質問項目	A	B	C	D	指標
1	学校生活は全般に楽しい	68	55	6	3	85.6
2	下農で成長でき、入学して良かった	57	59	11	5	81.8
3	自分の興味関心や進路選択に対応した、選択科目がある	53	58	18	3	80.5
4	年間授業計画について説明されている	30	75	18	9	73.9
5	予習・復習など、家庭学習をしている	9	31	66	25	54.6
6	授業は分かりやすく充実したものが多い	13	86	30	3	70.6
7	専門科目の授業が楽しい	50	66	12	4	80.7
8	目標とする資格や検定に合格できた	38	50	27	17	70.6
9	服装・挨拶・マナーなど、学校生活の指導が十分なされている	48	70	12	2	81.1
10	学校の規則など、生徒指導の方針や内容を理解している	41	70	18	3	78.2
11	校舎内の清掃・美化がゆきとどいている	20	57	40	15	65.5
12	先生は、自分たちの悩みや相談に親身になって対応してくれる	39	68	19	6	76.5
13	いじめを許さない学校づくりが進められている	36	70	21	5	75.9
14	学校行事(稲丘祭・クラスマッチ・見学旅行など)が充実している	44	68	13	7	78.2
15	校友会活動が活発で、関心が持てる	28	69	25	10	71.8
16	クラブ活動が活発で、充実している	41	64	20	7	76.3
17	学校は進路情報をよく知らせ、進路や指導をしてくれる	39	74	13	6	77.7
18	配布物を、保護者に見せている	43	57	24	14	73.4

指標70未満は黄色表示



回答数	a人	b人	c人	d人
人数	a+b+c+d=n			
指標	4点	3点	2点	1点
	$25*(4*a+3*b+2*c+d)/n$			

令和元年度 生徒アンケートまとめ（2年生）

67下伊那農業高等学校

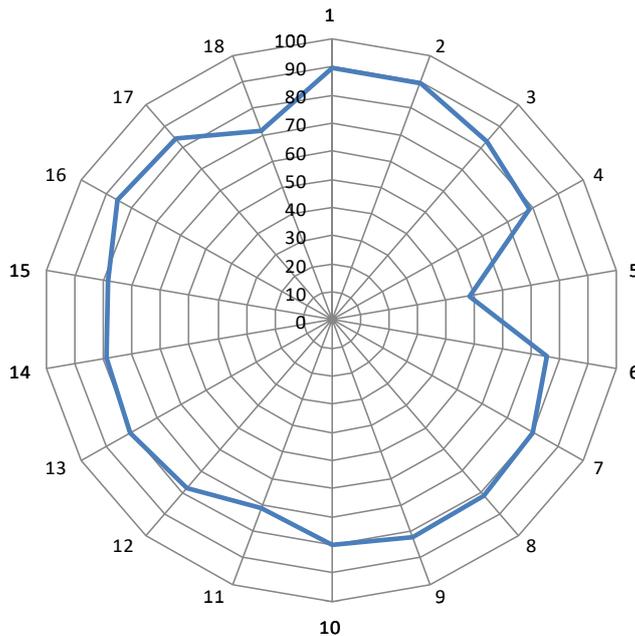
以下の質問にA～Dの4段階で評価し、該当する箇所に○印をしてください。

A:あてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

R1.12月実施

No.	質問項目	A	B	C	D	指標
1	学校生活は全般に楽しい	53	79	17	1	80.7
2	下農で成長でき、入学して良かった	66	67	13	4	82.5
3	自分の興味関心や進路選択に対応した、選択科目がある	48	78	21	3	78.5
4	年間授業計画について説明されている	33	80	34	3	73.8
5	予習・復習など、家庭学習をしている	9	23	68	50	48.5
6	授業は分かりやすく充実したものが多い	19	85	44	2	70.2
7	専門科目の授業が楽しい	65	65	18	2	82.2
8	目標とする資格や検定に合格できた	54	68	25	3	78.8
9	服装・挨拶・マナーなど、学校生活の指導が十分なされている	47	78	20	5	77.8
10	学校の規則など、生徒指導の方針や内容を理解している	36	83	25	6	74.8
11	校舎内の清掃・美化がゆきとどいている	16	44	66	24	58.7
12	先生は、自分たちの悩みや相談に親身になって対応してくれる	35	81	30	4	74.5
13	いじめを許さない学校づくりが進められている	29	78	35	8	71.3
14	学校行事(稲丘祭・クラスマッチ・見学旅行など)が充実している	36	71	36	7	72.7
15	校友会活動が活発で、関心が持てる	38	75	28	9	73.7
16	クラブ活動が活発で、充実している	38	77	29	6	74.5
17	学校は進路情報をよく知らせ、進路や指導をしてくれる	46	85	13	2	80.0
18	配布物を、保護者に見せている	52	57	34	9	75.0

指標70未満は黄色表示



回答数	a人	b人	c人	d人
人数	a+b+c+d=n			
指標	4点	3点	2点	1点
	$25*(4*a+3*b+2*c+d)/n$			

令和元年度 生徒アンケートまとめ（3年生）

67下伊那農業高等学校

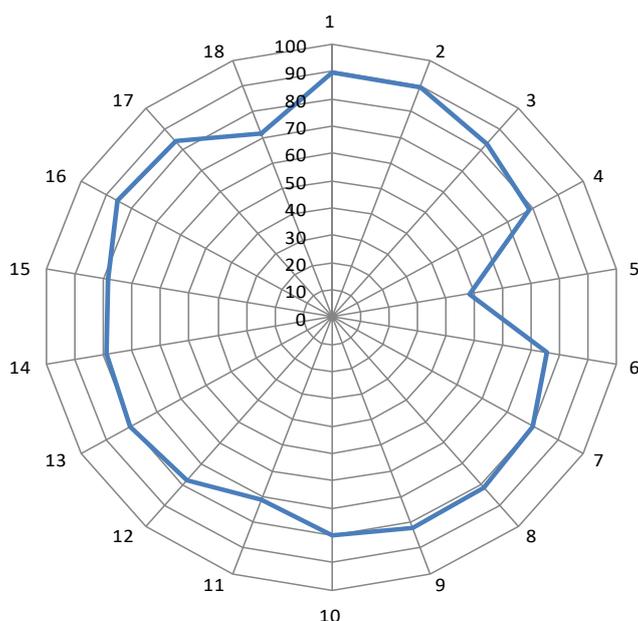
以下の質問にA～Dの4段階で評価し、該当する箇所に○印をしてください。

A:あてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

R1.12月実施

No.	質問項目	A	B	C	D	指標
1	学校生活は全般に楽しい	80	40	4	1	89.8
2	下農で成長でき、入学して良かった	79	42	3	1	89.8
3	自分の興味関心や進路選択に対応した、選択科目がある	63	44	13	5	83.0
4	年間授業計画について説明されている	51	45	25	4	78.6
5	予習・復習など、家庭学習をしている	15	15	41	54	48.2
6	授業は分かりやすく充実したものが多い	25	77	22	1	75.2
7	専門科目の授業が楽しい	54	48	18	5	80.2
8	目標とする資格や検定に合格できた	52	57	12	3	81.9
9	服装・挨拶・マナーなど、学校生活の指導が十分なされている	53	58	11	3	82.2
10	学校の規則など、生徒指導の方針や内容を理解している	45	63	13	4	79.8
11	校舎内の清掃・美化がゆきとどいている	28	57	33	7	71.2
12	先生は、自分たちの悩みや相談に親身になって対応してくれる	43	58	19	5	77.8
13	いじめを許さない学校づくりが進められている	46	63	13	3	80.4
14	学校行事(稲丘祭・クラスマッチ・見学旅行など)が充実している	54	43	22	6	79.0
15	校友会活動が活発で、関心が持てる	52	45	21	7	78.4
16	クラブ活動が活発で、充実している	66	49	8	2	85.8
17	学校は進路情報をよく知らせ、進路や指導をしてくれる	61	52	9	3	84.2
18	配布物を、保護者に見せている	41	38	33	13	71.4

指標70未満は黄色表示



回答数	a人	b人	c人	d人
人数	a+b+c+d=n			
指標	4点	3点	2点	1点
	$25*(4*a+3*b+2*c+d)/n$			

令和元年度 生徒による授業評価結果まとめ

授業評価については、今後の授業改善に役立てることを目的に、1学期（7月）と2学期（12月）に全校生徒を対象にすべての授業に対して評価を実施した。

1 授業評価について

自己評価も含め、以下の3つの質問について5段階で評価

(1) 質問事項

質問1 自分は授業中に集中して先生の話聞き、学習に取り組んでいますか？

質問2 授業の進捗や難易度は、自分にとって適切ですか？

質問3 先生は興味・関心を高め、わかりやすい授業をしていますか？

(2) 評価基準

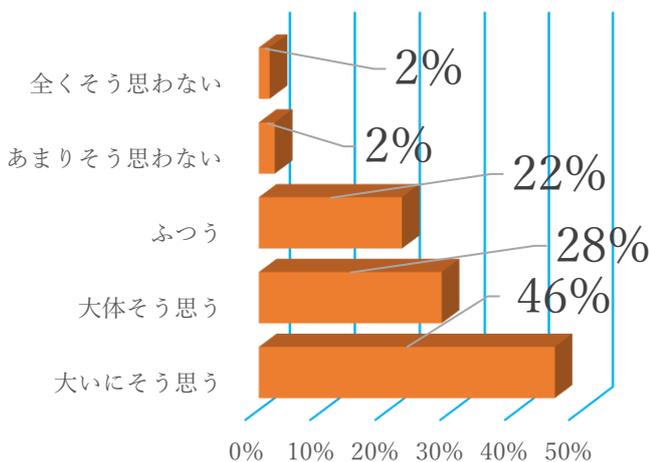
①大いにそう思う ②だいたいそう思う ③ふつう ④あまりそう思わない

⑤まったくそう思わない

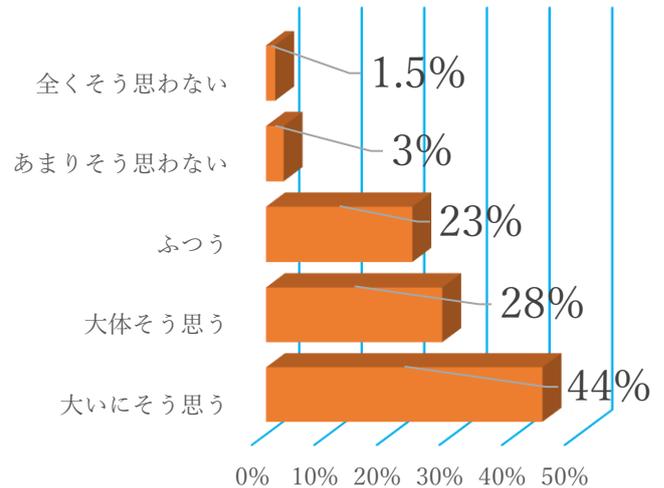
2 評価結果について

(1) 質問1の「生徒自身の授業態度」については、「ふつう」以上と回答したのは1学期96.0%、2学期95%で、改善が必要と回答した生徒は0.5%増加した。

自分は授業中集中して先生の話聞き学習に取り組んでいますか？

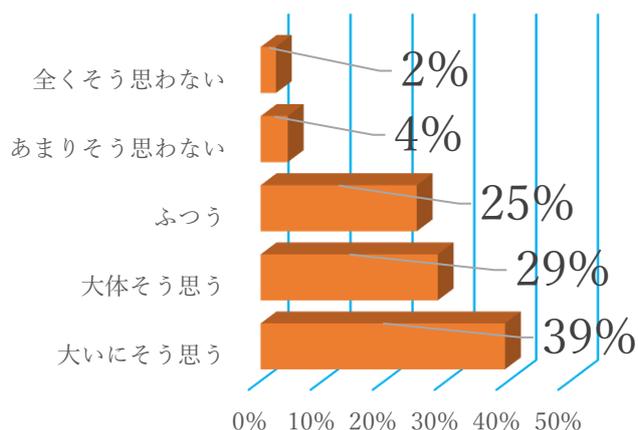


自分は授業中集中して先生の話聞き学習に取り組んでいますか？

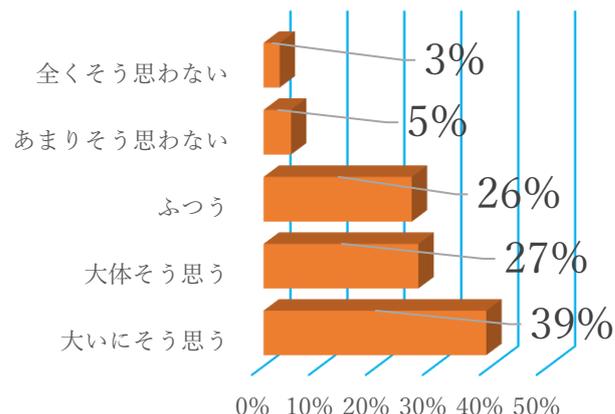


(2) 質問2の「授業の進度や難易度」については、「ふつう」以上と回答したのは1学期93%、2学期92%で、改善が必要と回答した生徒は2%増加した。2学期になり若干の生徒が改善を求めていることが分かった。

授業の進度や難易度は自分にとって適切ですか？

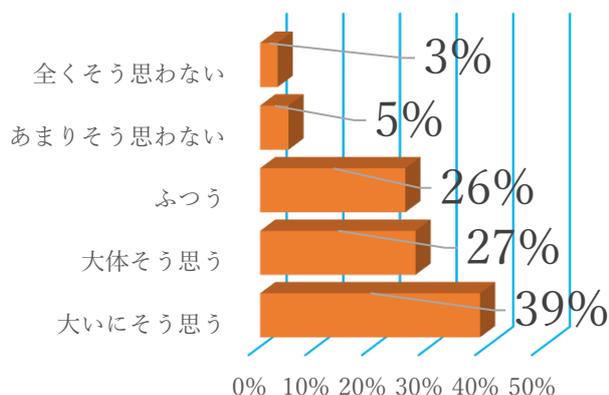


授業の進度や難易度は自分にとって適切ですか？

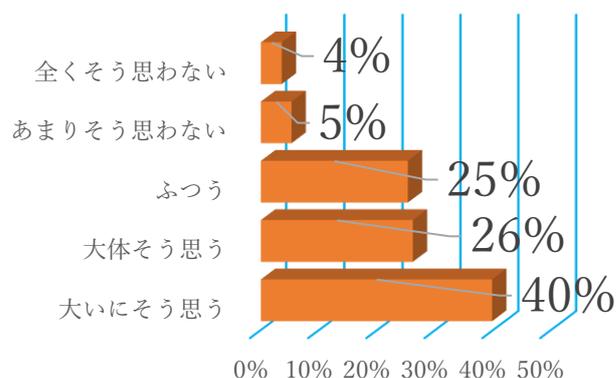


(3) 質問3の「わかりやすい授業か」については、「ふつう」以上と回答したのは1学期92%、2学期91%で、改善が必要と回答した生徒は1%増加した。

先生は興味関心を高め分かりやすい授業をしていますか？



先生は興味関心を高め分かりやすい授業をしていますか？



3 今後について

ICT 機器を導入し2年目になったこともあり、職員が積極的に活用し授業を行ったことが、昨年度と比較し生徒の満足度向上につながっている。また、板書中心の授業と違い、目で見て実物を感じることでできる授業は、生徒の理解力・定着力を高めることにとても役立っていると考えられる。今後は、ICT 機器を活用した学習を、どのように「探究的な学び」に結び付けていくのかや、満足度の低い生徒をどのように減らしていくのが課題である。

令和元年度 学校関係者による学校評価のまとめ

5：そう思う 4：どちらかというと思う 3：どちらとも言えない・わからない
2：どちらかというと思うは思わない 1：そうは思わない

項目	内 容	評 価				
		5	4	3	2	1
1	全ての教科において、分かりやすい授業を実践するとともに、食料・環境・食育等に関する農業学習を通して、学習意欲の向上に努め、生徒の可能性を広げる教育を実践している。	48%	39%	13%		
2	専門性を生かした生徒の進路実現に向け、キャリア教育に対する積極的な取組みを行っている。	42%	52%	6%		
3	地域連携、地域貢献、地域文化の継承等に積極的に取り組み、地域から信頼される開かれた学校づくりに努めている。	48%	42%	10%		
4	生徒の問題行動・いじめ等の未然防止に努めるとともに、基本的な生活習慣を確立するため、規律ある生活態度の育成、身だしなみ指導等に努めている。	26%	58%	16%		
5	資格取得や各種研修に積極的に取り組んでいる。	58%	39%	3%		
6	班活動等の課外活動に積極的に取り組んでいる。	48%	42%	7%	3%	
7	交通安全教室等、生徒に対する安全教育を重視した教育を実践している。	19%	55%	26%		
8	海外研修の実践等、生徒の国際的な視野を広めるため、国際理解教育やグローバル教育に積極的に取り組んでいる。	29%	26%	42%	3%	
9	学校評議員制度やPTA活動等を有効に活用し、地域社会及び保護者の意見や要望を日常の教育改善に生かそうと努めている。	32.2%	48.4%	19.4%		
<p><意見等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 100周年おめでとうございます。益々のご発展を祈念しています。生徒一人一人が生き生きと学んでいる姿に感動しています。 ○ 今年度、収穫祭での発表や報告がとても印象に残りました。生徒達の主体的な学びの姿、海外研修でついた力など自分の言葉で語られており、下農の系統的、全人教育的な伝統に支えられつつも新たな挑戦に感動しました。中学校現場（授業改善、カリキュラム編成等）に大変参考になる教育をされていると思います。今後の貴校の発展と開講100周年記念のご盛会をお祈り申し上げます。 						